

平成27年度精密工学会秋季大会関連事業
「元気の出る新技術講演会－産学・産産連携への集い」実施報告

精密工学会では、2013年度から産学連携と産産連携を支援する講演会を始めました。これは企業の皆様に精密工学分野の研究機関との共同研究や関連企業とのビジネス交流の機会を提供させていただくもので、本年度の秋季大会でも初日の9月4日に東北大学川内北キャンパスで開催しました。

今回は、2部構成をとり、第1部では、産学連携のための新技術シーズ講演会を開催、第2部では、東北地区企業による技術講演会「元気のある企業の元気の出る技術」を開催しました。また引き続き開催された夜の部では、ものづくり関連企業との技術交流会（懇親会）を開催し、大学・公設研究所の研究者および参加企業の皆様との交流を行いました。講演会には80名、技術交流会には50名もの多くの皆様に参加していただき、盛況のうちに終了しました。

1. 第1部 「産学連携のための新技術シーズ講演会」

午後の第一部「産学連携のための新技術シーズ講演会」は、本会事業部会長の大谷幸利氏による挨拶に始まり、5件の講演が行われました。まず、東北経済産業局・岩瀬恵一氏より、「地域経済の発展に向けて～東北経済産業局による施策の重点～」として、東北地域の経済概況、東日本大震災後の復興の概況と復興に向けた取組、ものづくり産業の戦略的育成および東北の地域資源に関する紹介の後、平成28年度予算として、橋渡し研究開発促進事業等についてご紹介いただきました。次に、産業技術総合研究所・島本直伸氏より、「共用施設が拓くデバイスイノベーション～微細加工プラットフォームの概要」として、文部科学省の支援事業「ナノテクノロジープラットフォーム」の概要、利用例、利用手続き等について紹介がありました。中京大学・興水大和氏（画像応用技術専門委員会）より、「新技術のための現場主義－画像技術 Cutting Edge の処方箋－」として、画像検査技術の一例としての「傷の気付き」アルゴリズム、エッジ検出技術等の紹介がありました。産業技術総合研究所・小倉一朗氏（知的ナノ計測専門委員会）より、「マイクロプレスを高度化するトランスファシステムの開発」として、材料歩留りを向上させるために開発した、少数のアクチュエータによるトランスファ機構の構造・動作の紹介がありました。東北大学・水谷正義氏（ナノ精度機械加工専門委員会）より、「新しい“ものづくり”プロセスの提案と高機能デバイスへの応用」として、生物に倣って表面をデザインし、機能を創成するアイデアを基にした、超音波援用研削加工事例、幾何学的な観点に加えて化学的・物理的に表面を制御するものづくり手法としてバイオインプラントへの応用事例の紹介がありました。いずれのご講演もユニークな研究事例であり、大変興味深いお話でした。今後の発展が期待されます。



講演会の様子



島本氏（産総研）の講演



水谷氏（東北大）の講演

2. 第2部 技術講演会「元気のある企業の元気のなる技術」

本学会の賛助会員の会が企画する技術講演会「元気のある企業の元気のなる技術」を開催しました。今回は、東北支部の賛助会員2社を含む、東北地方において活発に事業展開されている計7社の方々からご講演頂き、東北地方の先端モノづくり技術をアピールして頂きました。

まず冒頭に、「賛助会員の会」赤木貞之会長（(株) 彌満和製作所）のご挨拶をいただき、その後、各企業の方々から以下のとおり技術講演を頂きました。その後、以下の7社の皆様からご講演をいただきました。

- 高能率加工工具に関する新技術・新製品の御紹介
株式会社タンガロイ 佐藤 学 氏
- 成長分野でのセラミックスの精度加工
日本ファインセラミックス株式会社 大宮 恭平 氏
- 地方小規模事業者が産学官連携で先端技術に挑戦 「高速鉄道用軌道ゲージの開発」
株式会社島茂商店 島 良記 氏
- 超音波電解内面研削盤の開発
ミクロン精密株式会社 小林 敏 氏
- インクジェットによる導光板製造装置の開発
株式会社東北電子 早川 孝 氏
- 石英加工メーカーの高付加価値技術
テクノクオーツ株式会社 梅津 康浩 氏
- 難削材へのねじ加工技術
株式会社彌満和製作所 赤木貞之 氏



畠氏によるご講演



早川氏によるご講演



梅津氏によるご講演

3. 技術交流会

技術講演会終了後、川内北キャンパス内のサブアリーナ棟 Bee Arena Cafe に移動して、講演者と参加者の技術交流会（懇親会）を行いました。参加者は50名でした。会場ではご講演頂いた企業のポスター展示等を通して、講演会場とは違った本音の意見交換と親睦が図られていました。



技術交流会の様子

4. 最後に

学術講演会と並行した企画行事として、1日を通して多くの参加者を得て、東北地方の先端モノづくりに関する情報を発信するとともに、産学・産産連携に向けた有益な情報交換イベントとすることができました。これを契機に多くの連携活動が生まれることを期待したいと思います。そして、今後もこの講演会をより活発なものとするべく企画を続けて参りたいと存じます。

最後に、本講演会に多大なるご支援とご協力を賜りました経済産業省東北経済産業局およびご多忙中のところ話題提供をいただいた皆様に御礼申し上げます。